

入試区分	学 部	学 科	募集 人員	試験日	出願期間	可否通知	入学手続期間	
							第一次入学手続期間	第二次入学手続期間
							入学金納入 一部書類郵送 (最終日消印有効)	学費等納入 一部書類郵送 (最終日消印有効)
特別選抜 入試	経 済	経 済	15	10月7日(土) 10月8日(日) ※出願する型に より異なる	8月21日(月) } 8月25日(金) (消印有効)			
		経 営	15					
		金 融	15					
AO入試	人 文	英 語 英 米 文 化	8	10月8日(日)	8月28日(月) } 9月5日(火) (消印有効)	10月13日(金) (発送)	10月16日(月) } 10月23日(月)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化	6					
		日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化	6					
	社 会	社 会	4					
		メ デ ィ ア 社 会	4					
帰国生徒 対象入試 (外国高等学校 卒業生及び 帰国生徒対象 入学試験)	経 済	経 済	各 若干名	10月8日(日)	8月28日(月) } 9月5日(火) (消印有効)	10月13日(金) (発送)	10月16日(月) } 10月23日(月)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		経 営						
		金 融						
	人 文	英 語 英 米 文 化						
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化						
社 会	日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化							
	社 会							
社会人 入 試	経 済	経 済	各 若干名	10月8日(日)	8月28日(月) } 9月5日(火) (消印有効)	10月13日(金) (発送)	10月16日(月) } 10月23日(月)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		経 営						
		金 融						
	人 文	英 語 英 米 文 化						
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化						
社 会	日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化							
	社 会							
外国人学生 特別入試	人 文	日本・東アジア文化	I 期 若干名	※書類選考のみ	1月5日(金) } 1月26日(金) (消印有効)	2月11日(日) (発送)	2月14日(水) } 2月26日(月)	
			II 期 若干名					
指定校制 推薦入学	経 済	経 済	30	11月26日(日)	11月1日(水) } 11月7日(火) (消印有効)	11月27日(月) (発送)	11月28日(火) } 12月8日(金)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		経 営	30					
		金 融	30					
	人 文	英 語 英 米 文 化	26					
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化	24					
		日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化	24					
	社 会	社 会	32					
メ デ ィ ア 社 会		22						
編 入 学 験 ・ 転 入 学 験	経 済	経 済	募 集 しない	10月8日(日)	8月28日(月) } 9月5日(火) (消印有効)	10月13日(金) (発送)	10月16日(月) } 10月23日(月)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		経 営						
		金 融						
	人 文	英 語 英 米 文 化						
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化						
社 会	日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化							
	社 会							
学士入学 試 験	経 済	経 済	各 若干名	10月8日(日)	8月28日(月) } 9月5日(火) (消印有効)	10月13日(金) (発送)	10月16日(月) } 10月23日(月)	2月27日(火) } 3月13日(火)
		経 営						
		金 融						
	人 文	英 語 英 米 文 化						
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化						
社 会	日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化							
	社 会							
		メ デ ィ ア 社 会						

特別選抜入試

1. 出願資格（経済学部 各学科共通）

本学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の学科で学ぶことを強く希望し、出願する型ごとに定められた条件をすべて満たす者。

【課外活動重視型】

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 高等学校又は中等教育学校在籍中に行った課外活動に熱心に取り組み、「顕著な成績」を修めた者。

【商業系資格重視型】

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 以下のいずれかの資格を有していること。
 1. 日商簿記検定試験2級以上
 2. 全国商業高等学校協会検定試験1級（珠算・電卓実務検定試験、簿記実務検定試験、ビジネス文書実務検定試験、英語検定試験、情報処理検定試験、商業経済検定試験）のうち、簿記実務検定試験を含む3種類以上
 3. 全国経理教育協会簿記能力検定試験1級以上
 4. 基本情報技術者
 5. 応用情報技術者あるいはソフトウェア開発技術者

【PDPパスポート型】

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び平成30年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（略称PDP）」に参加し、両大学の学位取得を目指す者。
- (3) 以下のいずれかの資格を有していること。（ただし、平成27年10月以降に受験したものに限り）
 1. TOEFL® iBT 62点以上
 2. IELTS オーバーオール・バンド・スコア5.0以上
 3. TOEIC® L&R 及び TOEIC® S&W 994点以上
 4. 実用英語技能検定準1級以上
 5. TEAP（4技能）298点以上

【注意】PDPの履修希望者に対しては4月の入学時に選考を行っていますが、【PDPパスポート型】による入学者については同選考での合格を確約します。ただし、PDPの履修を継続するためには、ロンドン大学の基準（IELTS オーバーオール・バンド・スコア5.5以上、各項目で5.0以上）を平成30年8月末までに満たす必要があります。

2. 選考方法

学部	学科	一次選考	試験日	二次選考
経済	経済	【課外活動重視型】 出願書類(別に定める) にもとづく書類審査	10月7日(土) 又は10月8日(日)*	・筆記試験(総合問題：基礎学力(国語・数学)を評価する内容を含む) 80分 ・面接
	経営	【商業系資格重視型】 出願書類(別に定める) にもとづく書類審査	10月8日(日)	・筆記試験(総合問題：基礎学力(国語・数学)を評価する内容を含む) 80分 ・面接
	金融	【PDPパスポート型】 出願書類(別に定める) にもとづく書類審査	10月8日(日)	・筆記試験(総合問題：数学に関する基礎学力及び英語による表現力を評価する内容を含む) 80分 ・面接

*二次選考では、辞書の持ち込み・使用を認めません。

★両日のうち、どちらの日程になるかは受験票発送時に本人に通知します。

A O 入試

1. 出願資格等 (人文学部・社会学部)

大学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の学科で学ぶことを強く希望し、かつ以下のいずれかの条件に該当する者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び平成30年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の学校教育における12年の課程を修了した者、及び平成30年3月までに修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者、及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

学科・方式により、次の条件等にも該当すること

人文学部

●英語英米文化学科【語学力・文化理解力重視方式】

検定スコアか課題研究のいずれか1つを選び提出すること。

◎検定スコア 英語能力が以下のいずれかの基準を満たしていること (ただし、平成27年10月以降に受験したものに限り)。

- 1. TOEFL®iBT 42点以上
- 2. IELTSオーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
- 3. TOEIC® L&R 500点以上
- 4. 実用英語技能検定2級以上
- 5. TEAP (4技能) 226点以上
- 6. GTEC CBT 1000点以上 (オフィシャルスコアに限る)

◎課題研究 指示された課題研究を提出すること。

●ヨーロッパ文化学科【語学力・文化理解力重視方式】

検定スコアか課題研究のいずれか1つを選び提出すること。

◎検定スコア 英語、ドイツ語、フランス語能力のいずれかが以下のいずれかの基準を満たしていること (ただし、平成27年10月以降に受験したものに限り)。

- 【英語】
- 1. TOEFL®iBT 42点以上
- 2. IELTSオーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
- 3. TOEIC® L&R 500点以上
- 4. 実用英語技能検定2級以上
- 5. TEAP (4技能) 226点以上
- 6. GTEC CBT 1000点以上 (オフィシャルスコアに限る)

【ドイツ語】

- 1. ドイツ語技能検定3級以上
- 2. ゲーテ・ドイツ語検定試験A1以上

【フランス語】

- 1. 実用フランス語技能検定3級以上
- 2. DELF A1以上

◎課題研究 指示された課題研究を提出すること。

●日本・東アジア文化学科【語学力・文化理解力重視方式】

検定スコアか課題研究のいずれか1つを選び提出すること。

◎検定スコア 英語、中国語、韓国語能力のいずれかが以下のいずれかの基準を満たしていること (ただし、平成27年10月以降に受験したものに限り)。

【英語】

- 1. TOEFL®iBT 42点以上
- 2. IELTSオーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
- 3. TOEIC® L&R 500点以上
- 4. 実用英語技能検定2級以上
- 5. TEAP (4技能) 226点以上
- 6. GTEC CBT 1000点以上 (オフィシャルスコアに限る)

【中国語】

- 1. 中国語検定3級以上
- 2. HSK筆記試験4級以上
- 3. TOCFL Level3以上 (聞き取りと読解の両項目を含むこと)

【韓国語】

- 1. ハングル能力検定3級以上
- 2. 韓国語能力試験 (TOPIK) 3級以上

◎課題研究 指示された課題研究を提出すること。

●3学科共通【GSC英語4技能判定方式】

英語能力が以下のいずれかの基準を満たしていること (ただし、平成27年10月以降に受験したものに限り)。

- 1. TOEFL®iBT 42点以上
- 2. IELTSオーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
- 3. TOEIC® L&R 500点以上
- 4. 実用英語技能検定2級以上
- 5. TEAP (4技能) 226点以上
- 6. GTEC CBT 1000点以上 (オフィシャルスコアに限る)

社会学部

●社会学科【テーマレポート方式】

TOEFL®, IELTS, TOEIC® L&R, TOEIC Bridge®, 実用英語技能検定, TEAP, GTEC CBTのいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できることが望ましい。

●社会学科【テーマレポート方式 (GDS)】

●メディア社会学科【テーマレポート方式 (GDS)】

TOEFL®, IELTS, TOEIC® L&R, TOEIC Bridge®, 実用英語技能検定, TEAPのいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。若しくは、数学が情報処理に関する能力を証明する (各種技能検定等) 書類を提出できること。

2. 選考方法

学部	学科	一次選考	二次選考	
		選考内容	試験日	選考内容
人文学部	英語英米文化	【語学力・文化理解力重視方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査	10月8日(日)	・筆記試験(英語の語学力判定問題を含む日本語小論文): 90分 ・面接(主として日本語。ただし英語の質疑応答あり)
	ヨーロッパ文化	【語学力・文化理解力重視方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査		・筆記試験(英語、フランス語、ドイツ語のいずれかの語学力判定問題を含む日本語小論文): 90分 ・面接(主として日本語) ※語学力判定問題については、試験時に1外国語を選択。 検定スコアを提出した合格者のうち希望者には、グローバル・スタディーズコース(P.3参照)に所属する許可があらかじめ与えられます(他のコースも選べます)。ドイツ語系検定出願者はドイツ語プログラム、フランス語系検定出願者はフランス語プログラムが対象となります。なお、英語プログラムに所属するためには、4月の選抜を受ける必要があります。
	日本・東アジア文化	【語学力・文化理解力重視方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査		・筆記試験(英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかの語学力判定問題を含む日本語小論文): 90分 ・面接(主として日本語) ※語学力判定問題については、試験時に1外国語を選択。 検定スコアを提出した合格者のうち希望者には、グローバル・スタディーズコース(P.3参照)に所属する許可があらかじめ与えられます(他のコースも選べます)。中国語系検定出願者は中国語プログラム、韓国語系検定出願者は韓国・朝鮮語プログラムが対象となります。なお、英語プログラムに所属するためには、4月の選抜を受ける必要があります。
	3学科共通	【GSC英語4技能判定方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査		・筆記試験(英語のリーディング・リスニング・ライティング力を問う、小問及び英語小論文(コンピューター入力)): 90分 ・面接(主として英語) 合格者のうち希望者には、グローバル・スタディーズコース(英語プログラム)(P.3参照)に所属する許可があらかじめ与えられます(他のコースも選べます)。
社会学部	社会	【テーマレポート方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査	10月8日(日)	・筆記試験(小論文): 80分 ・面接 ・筆記試験(小論文): 80分 ・面接(冒頭での英語面接を含む) 合格者は、自動的に「グローバル・データサイエンスコース」(P.3参照)への所属となります。通常コースへの所属はできません。
	社会	【テーマレポート方式(GDS)】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査		・筆記試験(小論文): 80分 ・面接(冒頭での英語面接を含む) 合格者は、自動的に「グローバル・データサイエンスコース」(P.3参照)への所属となります。通常コースへの所属はできません。
	メディア社会	【作品方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査、及び制作物の審査 【クリエイティブ・チャレンジ方式】 出願書類(別に定める)にもとづく書類審査		・筆記試験(小論文): 80分 ・面接 提出作品はプリント(新聞や出版物)、音声又は映像作品、デジタル(Webサイト、パッケージでのデジタルコンテンツ等)の領域で、志願者個人が制作したもの又は共同制作において志願者が中心的な役割を担ったものに限ります。なお、各種コンテストなどでの受賞作が相応の水準のものを求めます。 ・プレゼンテーション ・面接

*二次選考では、人文学部・社会学部とも辞書・辞典類の持ち込み・使用を認めません。

帰国生徒対象入試 (外国高等学校卒業生及び帰国生徒対象入学試験)

1. 出願資格 (経済学部・人文学部・社会学部)

A 外国高等学校卒業生又は卒業見込みの者。

日本語による講義を理解できる能力を有し、かつ平成30年4月1日までに満18歳に達する日本国籍を有する者(日本国の永住許可を得ている者を含む)で、次の各項目のいずれかに該当する者。

- (1) 日本国の内外を問わず通常の学校教育における12年の課程を修め、そのうち海外にある外国高等学校において最終学年を含めて2年以上継続して在籍し、かつ平成28年4月1日から平成30年3月31日までに卒業(修了)又は同見込みの者。ただし、成績優秀のため飛び級し、その結果通算年数が12年に満たずに卒業(修了)した者、又は同見込みの者を含む。
- (2) 国際バカロレア資格、バカロレア資格(フランス共和国)、アビトゥア資格のいずれかを取得した者。
- (3) 上記(1)、(2)と同等の資格を有すると認められる者。

※外国に設置されている高等学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っているものは外国の高等学校には当たりません。

B 日本の高等学校(中等教育学校を含む)卒業生又は卒業見込みの者。

日本語による講義を理解できる能力を有し、かつ平成30年4月1日までに満18歳に達する日本国籍を有する者(日本国の永住許可を得ている者を含む)で、次の各項目のいずれかに該当する者。

- (1) 平成30年3月31日までに日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び卒業見込みの者で、中学校・高等学校を通じて2年以上継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者。ただし、大学入学時において原則として帰国後2年以内であること。
- (2) 中学校・高等学校を通じて2年以上継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者で、日本の高等学校卒業程度認定試験合格者、及び平成30年3月31日までに合格見込みの者。ただし、大学入学時において原則として帰国後2年以内であること。
- (3) 上記(1)、(2)と同等の資格を有すると認められる者。

上記A・Bに加えて、次の条件等にも該当すること

- 経済学部志願者はTOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®] L&R、TOEIC[®] S&W、TOEIC Bridge[®]、実用英語技能検定、TEAP、GTEC for STUDENTS、GTEC CBT、SAT[®]のいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。
- 人文学部志願者*はTOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®] L&R、TOEIC[®] S&W、TOEIC Bridge[®]、実用英語技能検定、TEAP、GTEC for STUDENTS、GTEC CBT、SAT[®]のいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。外国語を英語以外で受験する者は前記の合格や成績を証明する書類提出は不要。
- 社会学部志願者はTOEFL[®]若しくはIELTSを受験し、そのスコアを提出できること。スコアはTOEFL[®]iBT 45点(PBT450)以上、IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上とする。

*外国語能力がとくに高い人文学部の合格者のうち、希望者には、グローバル・スタディーズコース(受験時に選択した言語のプログラム)(P.3参照)に所属する許可があらかじめ与えられます(通常のコースも選べます)。

2. 選考方法

経済学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●総合問題(数学に関する基礎学力及び英語による表現力を評価する内容を含む) 80分
	(3) 面接 主として日本語
人文学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●外国語問題と日本語小論文を合わせて90分 [外国語] 英語英米文化学科：「英語」 ヨーロッパ文化学科：「英語」「ドイツ語」「フランス語」から1外国語を試験時に選択 日本・東アジア文化学科：「英語」「中国語」「韓国・朝鮮語」から1外国語を試験時に選択
	(3) 面接 個人面接
社会学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●小論文80分
	(3) 面接 主として日本語

*試験では、辞書の持ち込み・使用を認めません。

社会人入試

1. 出願資格 (経済学部・人文学部・社会学部)

平成30年4月1日現在満23歳以上の者であって、一定の社会経験を有し、以下のいずれかの条件を満たしている者。

- (1) 平成25年3月以前に高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- (2) 定時制、通信制の高等学校を卒業した者、及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者。
- (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含む)、及び平成30年3月31日までに合格見込みの者。
- (4) 旧制諸学校の卒業生、又は中途退学者で文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者。

●経済学部志願者はTOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®] L&R、TOEIC[®] S&W、実用英語技能検定、TEAP、SAT[®]のいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。

●社会学部志願者はTOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®] L&R、TOEIC Bridge[®]、実用英語技能検定、TEAP、GTEC CBTのいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。

2. 選考方法

経済学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●総合問題80分
	(3) 面接 一人につき15分程度
人文学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●外国語問題と日本語小論文を合わせて90分 [外国語] 英語英米文化学科：「英語」 ヨーロッパ文化学科：「英語」「ドイツ語」「フランス語」から1外国語を試験時に選択 日本・東アジア文化学科：「英語」「中国語」「韓国・朝鮮語」から1外国語を試験時に選択
	(3) 面接 一人につき15分程度
社会学部	(1) 書類審査
	(2) 筆記試験 ●小論文80分
	(3) 面接 一人につき15分程度

*試験では、辞書の持ち込み・使用を認めません。

外国人学生特別入試

1. 出願資格 (人文学部 日本・東アジア文化学科)

次の1～5のすべてを満たす者。

- 日本国籍を有しない者。
- 本学学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得又は更新できる者。
- 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者、又は2018（平成30）年3月までに修了見込みの者（ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超える者の出願は認めない）。
又は、これに準ずる者で次の（1）、（2）のいずれかに該当する者。
（1）外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者で、2018（平成30）年4月1日までに18歳に達する者《国際バカロレア資格、バカロレア（フランス共和国）、アビトゥア資格については日本国内で取得した場合を含む》。
（2）通常の中等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了（2018（平成30）年3月31日までに修了見込みを含む）し、かつ、2018（平成30）年4月1日までに18歳に達する者。
上記「中等教育の課程を修了した者」には、学校教育における当該課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験と認められるその国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者を含む。
- 独立行政法人日本学生支援機構及び国外関係機関が実施する「日本留学試験」を受験した者。利用できる試験、必要科目は以下の通りとする。

利用できる「日本留学試験」

入試方式	必要科目	2015.11	2016.6	2016.11	2017.6	2017.11
I期入試	日本語	○	○	○	○	×
II期入試	日本語、総合科目	×	○	○	○	○

※総合科目の出題言語は英語、日本語いずれの選択も可とする。

※I期入試、II期入試では利用できる「日本留学試験」が異なる。○がついているいずれかの回の成績を1つ選択すること。

- 英語が既習である者。

2. 選考方法

I期入試

学部	学科	一次選考	二次選考
人文	日本・東アジア文化	出願書類(別に定める)にもとづく書類審査	①筆記試験 日本語による小論文、日本語聞き取り、及び英語の基礎力をはかる問題 120分 ②面接(主として日本語)

*二次選考では、辞書の持ち込み・使用を認めません。

II期入試

学部	学科	選考内容
人文	日本・東アジア文化	出願書類(別に定める)にもとづく書類審査

*II期入試は書類選考のみで、本学での個別試験は課しません。

編入学・転入学・学士入学試験

1. 募集学部・学科と入学年次

	学部	学科	入学年次	備考
編入学・転入学	経済	経済 経営 金融	2年次	★平成30年度は募集しません。
	人文	英語英米文化	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
		ヨーロッパ文化	3年次	ドイツ語又はフランス語の既習者が望ましい。未習の場合は卒業までに3年かかる場合もある。また既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
		日本・東アジア文化	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
社会	社会 メディア社会	2年次	★平成30年度は募集しません。	
学士入学	経済	経済 経営 金融	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
	人文	英語英米文化	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
		ヨーロッパ文化	3年次	ドイツ語又はフランス語の既習者が望ましい。未習の場合は卒業までに3年かかる場合もある。また既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
		日本・東アジア文化	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。
社会	社会 メディア社会	3年次	既修得単位の認定と成績によっては、入学年次が異なる場合もある。	

2. 出願資格 (経済学部・人文学部・社会学部)

編入学試験	短期大学士の学位を有する者、準学士、専門士の称号を有する者、又は高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者。いずれも、平成30年3月31日までに取得/修了見込みでも可。
転入学試験	修業年限4年以上の大学に2年以上在学(休学期間を除く)し、卒業に必要な単位を62単位以上修得した者。又は、平成30年3月31日までに該当する見込みの者。
学士入学試験	学士の学位を有する者、又は高度専門士の称号を有する者。いずれも、平成30年3月31日までに取得見込みでも可。 経済学部志願者はTOEFL®、IELTS、TOEIC® L&R、TOEIC Bridge®、実用英語技能検定、GTEC for STUDENTS、GTEC CBT、SAT®のいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できること。

*出願資格について不明の場合は事前に入試課までお問い合わせください。

*平成31年度より、編入学試験に限り、社会学部志願者は、TOEFL®、IELTS、TOEIC® L&R、TOEIC Bridge®、実用英語検定、TEAPのいずれかを受験し、合格や成績を証明する書類を提出できることが、出願資格に追加されます。

3. 選考方法

出願書類による書類審査及び試験(筆記試験・面接)により選考する。

●試験内容

経済学部	総合問題	80分
	面接	一人につき15分程度
人文学部	外国語問題と日本語小論文	英語英米文化学科 [英語]
		ヨーロッパ文化学科 [英語][フランス語][ドイツ語]から1外国語を試験時に選択 日本・東アジア文化学科 [英語][中国語][韓国・朝鮮語]から1外国語を試験時に選択
	面接	一人につき15分程度
社会学部	小論文	80分 社会学に関する一定の知識を持つことを前提とします。
	面接	一人につき15分程度

*試験では、辞書の持ち込み・使用を認めません。